

インフルエンザ情報

インフルエンザに感染した後、中枢神経が急速に侵される「インフルエンザ脳症」で、睡眠中などに子供が突然死する新しいタイプが出現、2年前の流行期に大阪府内だけで6人が死亡していたことが、厚生労働省研究班の調査でわかった。

同時期に他地域でも子供数人が死亡、昨冬も死亡例があったという。従来の脳症と異なり、けいれんや意識障害などの症状が出ないまま急死するのが特徴で、研究班は「共通する原因は不明で、詳しい調査が必要」としている。

研究班員の塩見正司・大阪市立総合医療センター小児救急科部長によると、2002年12月から03年2月にかけて、大阪府内でインフルエンザになった1-8歳の男児6人が、発症後1-2日目に、寝ている間に突然死した。

厚労省研究班(班長=森島恒雄・岡山大教授)に同様の急死例が数例報告されたが、詳しい調査は行われていない。ただ、大阪で死亡した6人のうち4人は、抗ウイルス薬オセルタミビル(商品名タミフル)を服用、その3-7時間後に死亡していた。

タミフルは01年2月から発売されたが、製造元のロシュ社(本社・スイス)は、動物実験で大量投与を受けた幼若ラットが死亡、脳から高濃度の薬剤成分が検出されたため、昨年1月、1歳未満には投薬しないよう警告していた。

*** 未だアークフラッシュ施工された老人施設からは発症の報告な無い
刑務所内で感染!!**

北海道月形町の月形刑務所で、60歳代の男性受刑者が結核に感染していたことが21日までに分かった。他の感染者は確認されていないという。同刑務所によると、この受刑者は東京方面から04年7月に移送され、7人収容の雑居房に収容されていた。同刑務所では岩見沢保健所に届け出るとともに、受刑者を隔離病棟に収容した。

*** 刑務所内にもアークフラッシュは必要ではないだろうか!!**

花粉情報!!

平均より遅れていた関東以西のスギ花粉の飛散開始は一部で既に始まり、週末からほぼ全域に広がる。飛散時期を予測している花粉情報協会は22日、こんな見通しを示しました。

村山貢司理事は「例年の数倍に上る花粉量に変わりはないので、飛散が遅れれば遅れるほど、たまった大量の花粉が一気に飛ぶ一番嫌なパターンになる」としています。

同協会によると、飛散開始は26-28日ごろ、関東より西のほぼ全域に拡大。大半の患者が重症化する、1日で1平方センチ当たり30個の飛散量には「1週間かからずに到達する」といわれています。

このほかの飛散開始は、北陸から東北南部が3月上旬、東北北部は3月中旬から下旬、北海道は4月以降と、ほぼ例年並みの見込みです。

*** 花粉症がアークフラッシュ施工したら軽減した!!との報告が多々来た!!**

施工予定：イセエビ料理 中納言 3/1～、

アークフラッシュ最新情報

JR西日本ホテル開発の京都グランビアホテルの 1527 号室スイートルームをアークフラッシュ加工した、その15分後からホテル社長はじめ、役員の検証を受け非常に良い評価を受けました。

本年、改装の時にアークフラッシュを施工する事になりました。3年前に当ホテルの喫煙室を施工しました、本年その評判は非常に良く、ヤニが気にならないなどの好評を得ました。

年月が経過した後でも会員の施工技術の高さが、他社商品との差別化につながり好評の結果を頂く原動力となっております。



グランビア施工風景



1527 号室の菌検査



対照部屋 1529 号室